

華ちりめん伊と錦



Timebank

・最近読んだ本

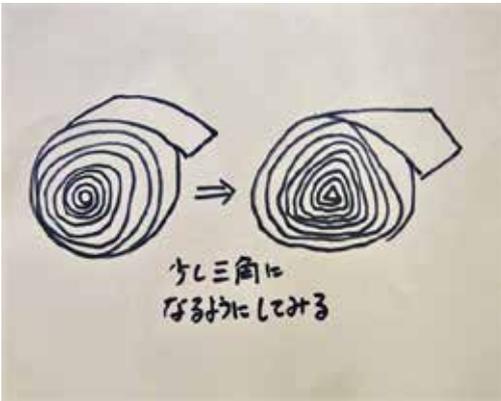
もう何年も前になりますが、日本放送協会（NHK）の番組でたまたまテレビをつけたら、「ろんぶーん」という番組をやっていました。この番組は、論文の紹介と共に著者に登場して頂いて、その論文を書くことに至った理由や、研究成果の紹介、それに芸人さんが一般市民の目線で質問や対談をする番組です。

たまたまテレビを付けた私の目に飛び込んできたのは、大阪大学の先生が書いた論文に関するものでした。その名も「仕掛け」。題名だけでも興味をそそられて、テレビに耳を傾けてしまいます。結果から言っと、最近の新しい研究分野で、その大阪大学の先生が一番最初の研究者のようです。

その内容は、まず「仕掛け」を見つけてデータ化してみ分かったことや、その効果の検証などでした。その「仕掛け」とは、すでに色んな企業がアイデアを出して作ったものや、新しい取り組みなどの紹介もありまし

た。ごく身近にあつて気付かなかつたものや、これ知ってる！というもので様々です。代表的な例で、私もいろんな所で目撃するのは、男性用トイレ。道の駅のトイレでも発見します。それは便器の「か所に「印」がついていて、男性の「つい狙ってみたくなる」心理を応用したもの。これは、その部分に当たると、一番トイレが綺麗に使用できる場所だそうです。「仕掛け」の主だった考え方は、例えば作り手が「こうして欲しい」ということに対し、利用者が「作り手の意図を知らずに」してみたくなることが「肝」だそうです。他には、トイレトーパーを三角形のように少しつぶして設置してみたら（↑これが仕掛け）どうなるかを検証すると、

なんとトイレトーパーの使用量が三パーセント減少したデータが取れたそうです。これはどうやって、トイレッ



トーパーを節約できるかの試みで、凄いところはトイレの利用者に大きなストレスや反感を買わなかったということ。例えば張り紙で「トイレトーパーの使用は必要最小限に」や「無駄に使わないようにしましょう」とか「資源の無駄遣いをやめよう」とか書いてあると、必要だから使っているのにと、少し嫌な気分がしますよね。これってストレスです。逆にただトイレトーパーを三角に曲げることで、子供にアンケートを取ると「音が出て楽しかった」とか、普通に使用しているつもりでも、使用量が減っているなんて分からなかったなんて声もあつたようです。いや、この学問面白いと思っていました。

時は流れて数年。つい先日何か面白い本がなかなかと探していると、「仕掛け」の帯が。あ、これはあの時の！ということを買いました。

読んでみるとこの本には、テレビで紹介されたもの以外にも外国の事例



や試みの紹介がされていて、分かりやすく解説してあります。階段をピアノの鍵盤に見立てて音が鳴る「仕掛け」でエスカーレーターより階段を歩きたくなる仕組みや、駐輪場にただ直線を引いただけで、自転車が行人の邪魔にならず自然と整列した様に置かれること、外国の公園でポイ捨てを減らす試みでゴミ箱にセンサーをつけておいて、ゴミを投入すると、井戸に小石を落とすかのように落下音と着地音になって、「ゴミを捨てる」から「音を聞く」ことへ楽しみを交換することで、結果捨てる作業が面白くなって、なんと！ゴミの収集量が約二倍になった事例等面白い内容です。

この大阪大学の先生が提唱している「仕掛け学」では、その「仕掛け」に認定するのは、こちら側とあちら側で狙いというか意図するところが「違う」点がポイントになっていることです。言い換えると、こちら側があちら側にある行動を取ってもらいたい時に、強制や積極的な心掛け（声かけやお願い）をせずに、あちら側は別の意味をもって楽しくそのある行動を意図せず「やってしまう」「仕組み」を仕掛けの言うところの「仕掛け」としているところ。もしかしたら、私の理解

が間違えている可能性もありますので、興味のある方や詳しく読んでみたい方は、ご購入をどうぞ。ちなみに伊と錦では販売していませんので、ご容赦を（笑）

そして先日、作業部屋の掃除をした後、誰かが（誰といっても私以外に父と母しかおりませんが）「ゴミ袋をこんな風にしていますか。」



恐らく入れやすいようにと思つてしたのだと思います。視点を変えてみるとち

よっとバスケットボールのゴールに見えませんか？ つい紙類などは投げて挑戦してみたりになります。届かなかつたりははずしたりすると拾いに行かないといけませんけど（笑）これもある意味ちよつとした楽しみの「仕掛け」になるのかもしれない。

よく発想の転換が大事とは聞きますが、私のような硬いそして固い頭では、なかなか難しいです。でもこの本を読んでもみると、同じような意味合いの事でも掛け合わせて考えて

みると、違う意味が新しくできたり、新しいアイデアやヒントが浮かんできそうな希望がもてそうです。最近は何かにつけ情報を集めようとするネットが大変便利ですが、実は冷静に考えてみると、自分に都合の良ささうなというか、好みというか偏っているような気がします。本を読むと、また違った目線で書いてあったりします。たまには本屋へ赴いて手にとることも大事だと思つたのでした。

予告

11月6日 金曜日より 8日 日曜日まで

報恩感謝の会

出品は「きもの」「帯」「和装小物」「革のバッグ」でもし着物やバッグの「お買い換え」を検討中のお客様は『下取り』があります！お得なアイテムが更にお得に。どうぞお楽しみにご高覧下さい。



伊と錦
ITO NISHIKI

〒755-0015 山口県宇部市笹山町1-2-7
TEL.0836-34-2450 FAX.0836-34-2480